平成30年度
11月号
H30.11.30発行

生徒指導通信

青森県立
大間高等学校
生徒指導部

ＬＧＢＴ

「ＬＧＢＴ」とは、Ｌ（レズビアン＝女性同性愛者）、Ｇ（ゲイ＝男性同性愛者）、Ｂ（バイセクシャル＝両性愛者）、Ｔ（トランスジェンダー＝体と心の性に差がある人）の頭文字を取った呼称で、性的少数者を指し示す言葉の一つである。

先日、ＬＧＢＴに関する講演に参加した。その時の講師の方のプロフィールは、以下のとおりである。

～女性として生まれたものの、幼少の頃から女性ということに違和感を感じる（スカートを履くことに抵抗がある、男子と一緒に遊ぶ方が楽しい…）。１８歳の時に性同一性障害（身体的性別と心の性別が一致しない状態）と診断され、２１歳の時に海外で手術、帰国後、裁判所にて氏名・性別の戸籍を変更し、２７歳で男性として結婚。～

子供の頃からいじめや暴言などを受け、また、性の悩みについて高校時代まで誰にも相談できずに一人で悩んでいたそうだ。そういう経験から、講演や執筆活動などを通じて、性的少数者が受け入れられる社会づくりに尽力している。

日本人の約８％がＬＧＢＴと言われ、これは左利きやＡＢ型の割合とほぼ同じである。しかし、ＬＧＢＴへの取り組みをしている企業は約半数にとどまり、カミングアウトは４人に１人というのが現状である。マツコデラックス（ゲイ）、壇蜜（バイセクシャル）、カズレーザー（同）など、カミングアウトした芸能人が増え、映画やドラマでもＬＧＢＴを取り上げるようになった。学校でも性同一性障害の生徒に対してきめ細かな対応をすることになるなど、社会的な動きも見られてはいるのだが、まだ受け入れ準備は十分ではない。

ＬＧＢＴに限らず、多様な人が社会に存在し、自分と考え方の違う人もたくさんいる。そういった人達を差別したり排除するのではなく、人格や考えを受け入れ、尊重し、共存することが当然であり、同じことが学校にも当てはまる。みんな仲良く、お互いを思いやり、認め合う、そんな大間高校生であることを願っている。

〔豊川〕

◆生徒会役員任命式＆情報モラル教室＆性に関する講演会

○生徒会役員任命式　11月7日に生徒会役員任命式が行われ、先日の選挙で信任された新生徒会長の山田虎太郎君をはじめ、新役員に任命証が手渡されました。

○情報モラル教室　生徒会役員任命式の後に行われました。今回は生徒会執行部が中心となり、ＳＮＳトラブルについて、身近な題材を取り上げて予防の仕方を説明しました。

○性に関する講演会　11月21日に１年生を対象に行われました。性感染症や青年期の性などについてお話をしていただきました。

◆１１月を振り返って

11月は大きな行事もなく、落ち着いて勉強に取り組むことができたのではないでしょうか。生徒指導面で見ると、人間関係のトラブルが依然としてなくならず、そこから問題行動になったケースもありました。また、教室に個人の教科書・ファイル等が散乱していたり、体調不良から学校を休む生徒が目につきました。もう一度自分の生活や行動を見直し、自己管理を徹底して欲しいと思います。

◆１２月の主な予定

7～11日：２学年修学旅行　　20～21日：球技大会　　21日：２学期終業式

※「アルバイト許可願」「旅行届」は早めに提出してください

今年もあと１ヶ月　やり残しのないように！

※何かあったら必ず学校に連絡を！　【大間高等学校　３７－２１０９】